

黒部国際化教育

国際感覚とコミュニケーション能力をもつ子供たちを育てます



柱の一つ「英会話科等」

平成18年から続く
黒部市の英語教育

目標

- ・英語を用いたコミュニケーション能力の育成
- ・ふるさと黒部を豊かに英語で語れる子供の育成

中学校

ALTと日本人の英会話講師と一緒に指導します。日本や外国の言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。



小5・6

ALTと学級担任や専科教諭、英会話講師の3人で一緒に指導します。「話すこと」「聞くこと」を中心に慣れ親しんできた語句や表現に「読むこと」「書くこと」が加わります。



小3・4

ALTと学級担任や専科教諭、英会話講師の3人で一緒に指導します。身近な生活場面における基本的なコミュニケーションに慣れ、英語の楽しさを味わいます。



小1・2

学級担任とALTと一緒に指導します。初歩的な英語を使ったコミュニケーションに親しみます。



英会話科等授業公開月間

令和4年10月24日から11月25日の間、市内全小中学校で、英会話科等授業公開が行われました。保護者の方々等、たくさんの皆様に参観していただきました。ありがとうございました。荻生小学校と若栗小学校は、11月に小学校教育課程研究集会があるため、英会話科等授業公開は行いませんでした。公開にあわせて、児童生徒の意識調査や保護者の皆様のアンケート調査を行いましたので、その結果をお知らせします。



【児童(5・6年生)、中学生に質問】

Q: 英会話科の授業を通して、どんな力を付けたいですか？

【保護者の方々に質問】

Q: 英会話科の授業を通して、子供たちにどんな力を付けさせたいですか？

- a: 国際社会で活躍できる力
- b: 海外でのホームステイや英語の学習を楽しむ力
- c: 海外旅行で、英語による日常会話やコミュニケーションを楽しむ力
- d: 高校卒業後に海外の大学などに進学できる力
- e: 高校入試に対応できる力
- f: 英検やTOEICなどの資格に対応できる力
- g: その他

【アンケート結果から】

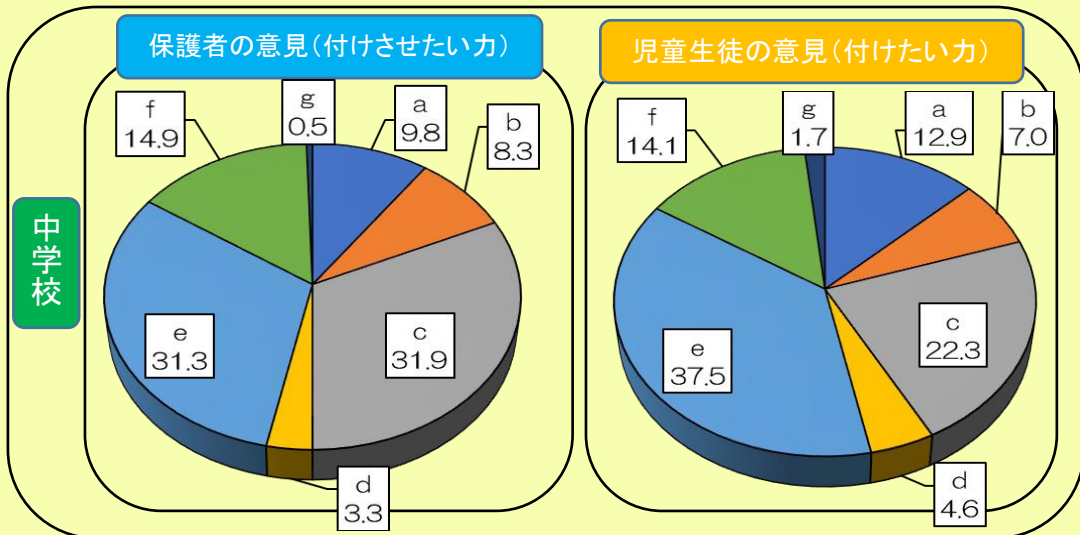
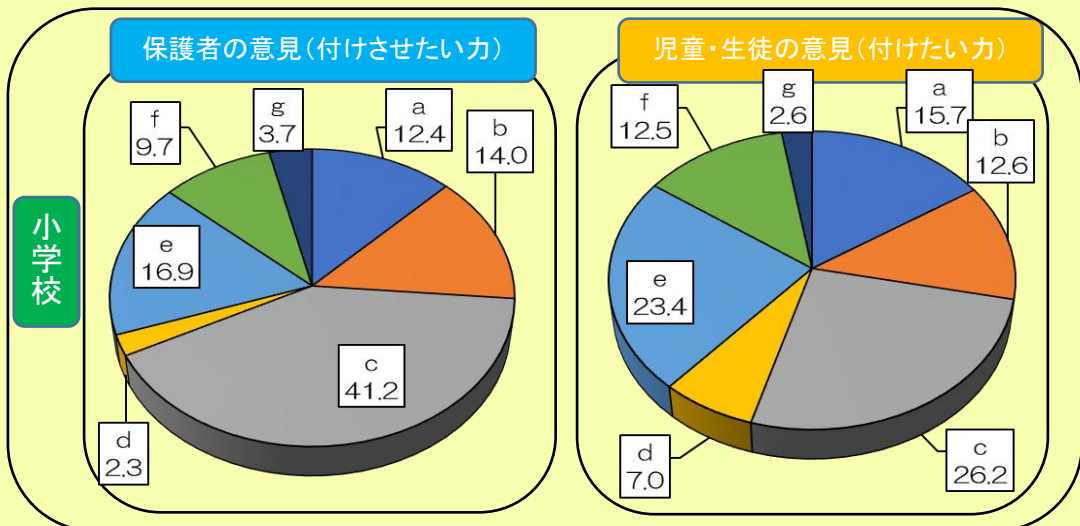
○小・中学校の両方の保護者において、「外国の人との英語での日常会話やコミュニケーションを楽しむ力」を付けさせたいと考えている割合が最も高くなっています。

○児童生徒の結果においては、小学生は「外国の人と英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しむ力」を付けたいと考えている割合が最も高く、中学生は「高校入試に対応できる力」と付けたいと考えている割合が最も高くなっています。

○「国際社会で活躍できる力」については、児童生徒の方が割合が高くなっています。

○「海外でのホームステイや語学研修を楽しむ力」については、保護者の方が割合が高くなっています。

○「英検やTOEICなどに対応できる力」については、中学校の保護者が付けさせたいと考えている割合が最も高くなっています。



黒部市では、これまで英会話科等の授業公開を3年に1度実施してきました。市全体では、小学校で21、中学校で5の授業が公開されました。小学校では延べ312名、中学校では、延べ57名の方々に参観いただきました。



生地小



たかせ小



石田小



村椿小

【保護者の方々からのご意見や感想】

◇授業内容について

- ・思っていた以上にレベルが高い内容だったのでびっくりしました。親が子供たちから学ばされるくらいで楽しそうでした。
- ・ただ「英語を話す」というのではなく、「相手に伝えるように、どう表現するか」というものが授業に盛り込まれていて、今後の子供たちの成長が楽しみになる授業でした。
- ・素晴らしい授業でした。すべて英語で授業が進められ、黒部市の魅力について考え話し合う内容になっており感心しました。
- ・ネイティブな英語に触れることができ、言語として身に付けばよいと思う。日頃から、英会話の授業が楽しそうでした。

◇授業の3人体制について

- ・3人体制で行われていて、楽しみながらの英語学習でよかったです
- ・全員の子供や各グループに気を配り、声をかけておられてよいと思いました。3人体制の方が、子供たちの緊張感が出てよいと思います。

◇授業で身に付けた力について

- ・ジェスチャーしながらだったり、リズムに合わせてりするなどの工夫があり覚えやすいだろうと思いました。単語を使って会話をするやり取りもみんな楽しそうで、家に帰ってから「タオル、プリーズ」など子供が使えるところで英語を話してくれたので、うれしかったです。
- ・家で英語の質問をされたことがあり、英語を楽しんでいると思います。
- ・英語でのプレゼンテーション(黒部のおすすめスポット紹介等)をしていて楽しそうだと思います。母国語以外の言語で相手に伝える力が養われてよいと思います。

◇黒部市としての取組について

- ・低学年のときから英語と触れ合うことはこれからの社会で大切になってくると思うので、よいことだと思います。学年が上がるにつれて英会話の授業回数がさらに増えると思います。
- ・英語は、必要だと思いながら習い事にも通わせてあげられないので、授業で取り入れていただけてとてもありがたいと思っています。子供もとても楽しいようで自然に身に付けていけたらよいと思います。
- ・オンラインで外国の姉妹校とやり取りするなど思い切ったことができれば素晴らしいと思います。



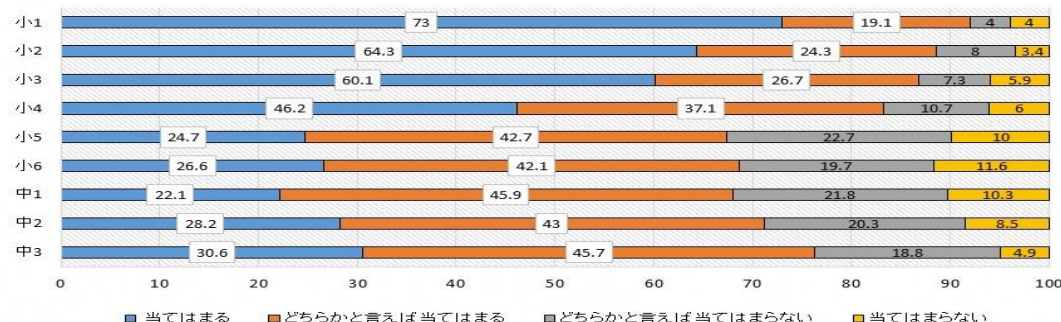
明峰中



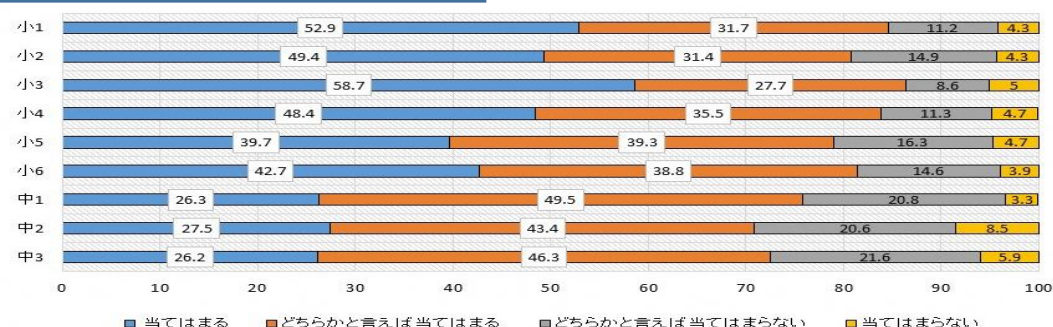
清明中

【児童・生徒の英語調査について】

興味関心「英語の勉強は好きだ」



理解度「英語の勉強はよく分かる」



宇奈月小



中央小



桜井小



荻生小



若栗小

姉妹都市交流事業



メーコンのYKK工場見学



昼食会

黒部市では、平成20年度から姉妹都市であるアメリカ合衆国ジョージア州メーコン市と、隔年で互いに生徒を派遣し、ホームステイや学校訪問等を通して交流しています。令和4年度は、メーコン・ビブ郡に生徒を派遣し、交流しました。

英語サマーキャンプ



英語劇の様子



ALTの考えたメニューでバーベキュー

夏休みに「あこや〜の」で2泊3日の日程で行われています。小学校5年生～中学校1年生の希望者が参加し、ALTや英会話講師と一緒に様々な活動を通して英語に親しみます。

国際理解資料の掲示



世界の国旗についての掲示

国際理解を深めることを目的として、世界の国々の文化や生活習慣等を紹介する作品を市内の学校で巡回掲示しています。

教室や廊下に「国際理解コーナー」を設け、「世界」を身近に感じることができる環境づくりを進めています。

黒部国際化教育として様々な活動を行っています

国際交流員を中心とした活動



雪遊びの活動

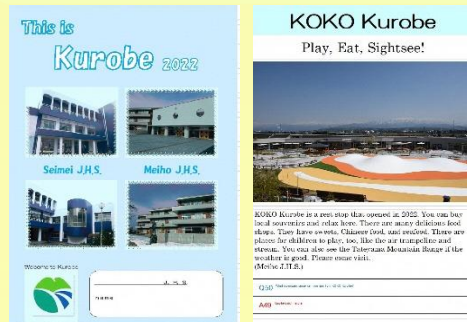
未就学のお子さんから小中学生、高校生などが参加し、国際交流員やALT、英会話講師と遊びながら、英語に親しむ活動を行っています。夏休みを中心に東部児童センターや中央児童センターで実施しています。

また、国際交流員が幼稚園や保育園を訪問し、英語教室を実施しています。歌や遊びを通して英語に親しんでいます。



保育園での英語教室

黒部市の特長を英語で



This is Kurobe 2022

『This is Kurobe』とは、黒部市を訪れた外国の方に、黒部市の名所や伝統文化等を英語で伝えることを目標として、中学生が作成したガイドブックです。毎年、市内2中学校の2年生が作成します。平成25年度に初版が刊行され、令和4年度の作品は第10版になります。



詳しくは、黒部市教育委員会 (TEL 54-2701) または、黒部市教育センター (TEL 65-0029) まで